

題名の所にあるベンチの写真は、「コミュニティベンチ・まちづくり」の実際のベンチです。これは、Hさんが富士森公園近くのパン屋さんの軒先に設置してあるのを見付けました。そのことで今回の取材に繋がりました。皆さんからの情報のおかげです。これも不思議なご縁と思いました。皆さんも街中のベンチを見つけて座ってみてください。

紅葉台



新聞

第87号

2023年

7月22日

発行人：関谷 孝

ブックカフェとみんなのイス

山川 正泰さん



噂には聞いていましたが、めじろ台のまちづくり協議会の活動には目を見張るほど住民の皆さんの熱意と先進的な取り組みに驚かされました。

紅葉台でも同じですが、めじろ台でも高齢者が増え、社会的な課題になっています。めじろ台では20年ほど前から高齢者問題に着目し、取り組んできています。その後2019年に「街の再生」について都市計画が専門の東京大学の大月先生がめじろ台をサポートしたことで60から80名の住民有志が集まって立ち上げたのが「めじろ台地区まちづくり協議会」。その内容は、①駅前活性化プロジェクト ②多世代交流 ③まちの資源活用（空き家活用など）④未来づくり。山川さんが取り組んでいるのは、主に②の多世代交流です。

今年4月29日「まちフェスティバル」が開催されました。その時にプレオープンしたのが「ブックカフェ」です。八王子市の「まちづくり」に3番目に認定されました。場所は、めじろ台商店街の一角。空き家になった商店をリノベして地域の人たちのコミュニティの場として誕生しました。その原案となったのが世田谷区松陰神社近くの「100人の本屋さん」です。カフェとして運営するためには運営資金が必要になります。そこで、本棚の仕切りを月2000円で貸し出しています。（これは、世田谷の取り組みを参考にしています）。棚のオーナーになると、本を置いたり販売したりすることが出来ます。手芸品を並べて販売したり企業の宣伝スペースとして活用したりすることもできます。そこを訪れた住民の人たちは、自由に棚にある本を読んだり購入したりすることが出来ます。今のところ運営資金はそれで賄っているそうです。



また、ここでは、どなたでも自由に来ておしゃべりをしたり、飲み物やお弁当を持ってきて会食したりすることも可能です。買い物帰りの休憩所。子供たちにとっては勉強したり本を読む場所になったり。落書きのスペースがあるのもいいアイデアです。また、赤ちゃん連れにはお母さんたちの相談場所や授乳場所としての活用も。また、サークル活動や講師を呼んでの勉強会、読書会等にも活用できます。これからの課題ですが、地域の皆さんの憩いの場、交流の場としてブックカフェ（名前は募集中）が今後どのようにしていくかが楽しみなところ。そんな憩いの場所があるのは私も目指しているところなので羨ましい限りでした。

そのほかに2年前から取り組み始めたのが「みんなの紅葉台新聞」は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

イス」プロジェクト。山川さんが中心になって「街中にベンチ」を置くことの重要性を感じたことから始まりました。高齢者が買い物帰りに重い荷物を持っていると、途中休むところが必要ではないかと考えました。デイサービスが来るまでの間に腰かけるところがあると便利です。

公道にはベンチを置けないので、お店の軒先や個人の家の前にベンチを置かせてもらうためにお願いに行きます。椅子で怪我をすることもあるので、特別な保険を掛けるほどの念の入用です。椅子は、いらなくなったのを寄付してもらったりネット購入をしたりしています。苦労することは、やはりベンチを置きたい場所に置くことです。置きたいところになかなか置けないことも多いのですが、今現在では12か所に置いているそうです。（HPには地図で場所を知らせています）今後はベンチを置くことで生まれる効用を調べていくそうです。街中で「802コミュニティベンチ・まちづくり山川」との表示を見たら、山川さんの取り組みを思い出してください。7月には、「椅子フェスティバル」をしてベンチから生まれる人とのつながりや居心地のいい街づくりを提案していきたいと抱負を語っていました。

「街にベンチを置こう」という取り組みは、高齢者の多い街ではその必要性が言われるようになってきています。今回は自分たちの街にベンチを置きたいとの思いで自治会と一緒に取り組んでいるHさんが山川さんのベンチを見つけたことがきっかけになり話を聞くことが出来ました。山川さんは八王子志民塾を受講され、市民活動に熱心に取り組んでいます。私も同じく八王子志民塾で学び、地域の課題を解決する取り組みに共感しています。

「みんなが住みよい街」「安心して長く住める街」「みんなが助け合える街づくり」に貢献していきたいと思っています。山川さんは、それを地域で確実に積み上げ実践していることが素晴らしいと感服します。私も志のある方に学びながら地域のコミュニティづくりに貢献していきたいと思っています。【文責 関谷】



＊ブックカフェ利用時間
11時～17時 水・日休み

粕谷和夫の観察日記八王子広報 6/15 表紙でも紹介



八王子川町の棚田で、田植え前の代掻きです。2006年から毎月1回通って、野鳥の定期カウントを行っています。田んぼに水が入るとアオサギやカルガモがやって来ます。棚田の風景に癒されます。（5月下旬）

♥ 17年間も通っている田んぼ愛が素晴らしい！